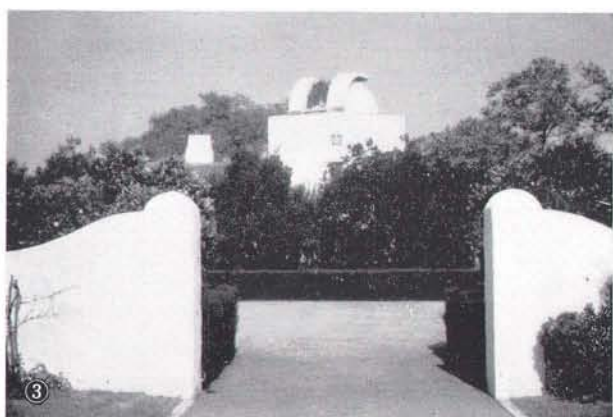
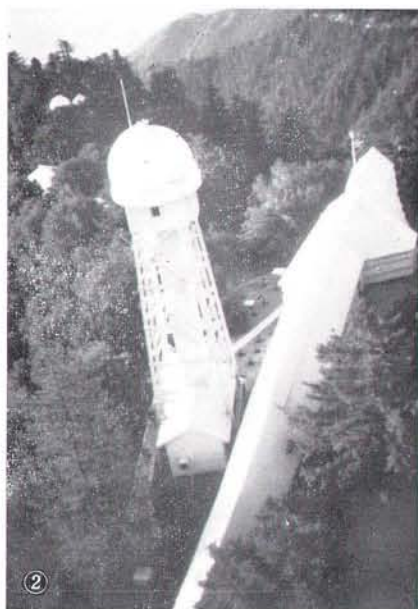
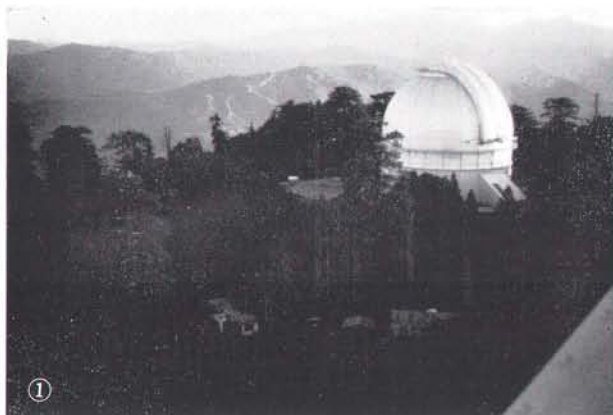


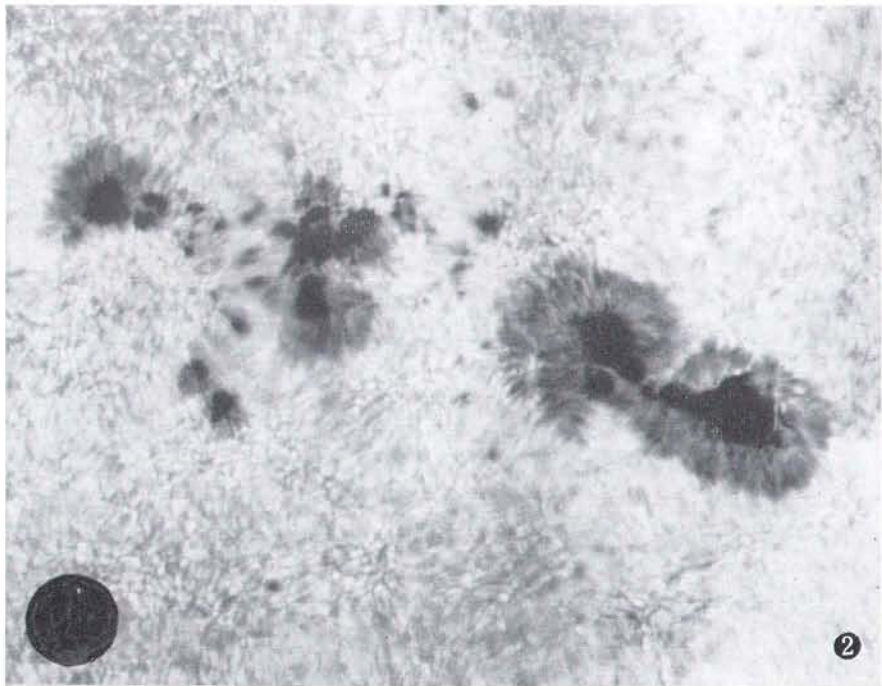
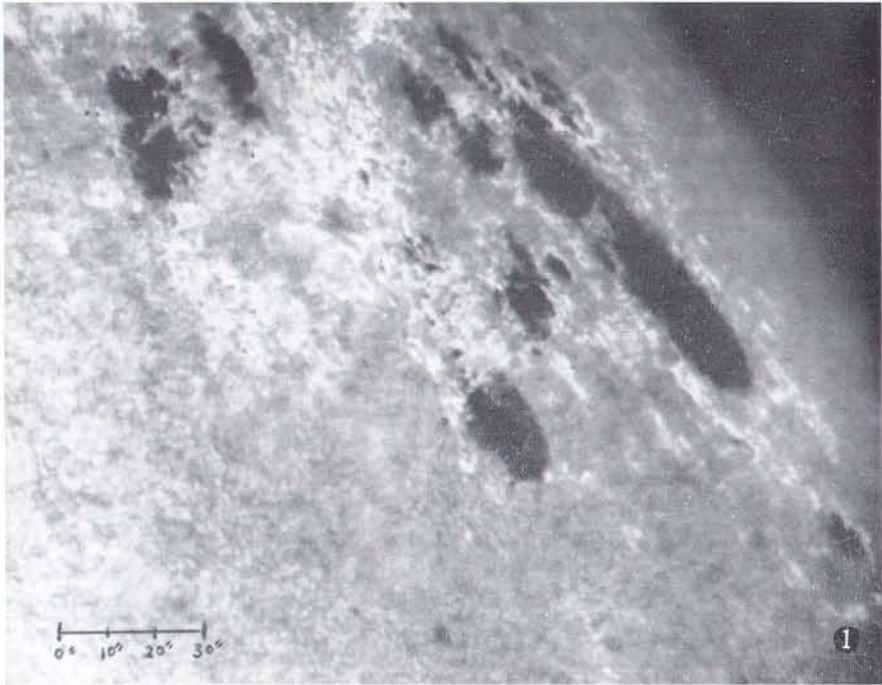
パサデナだより

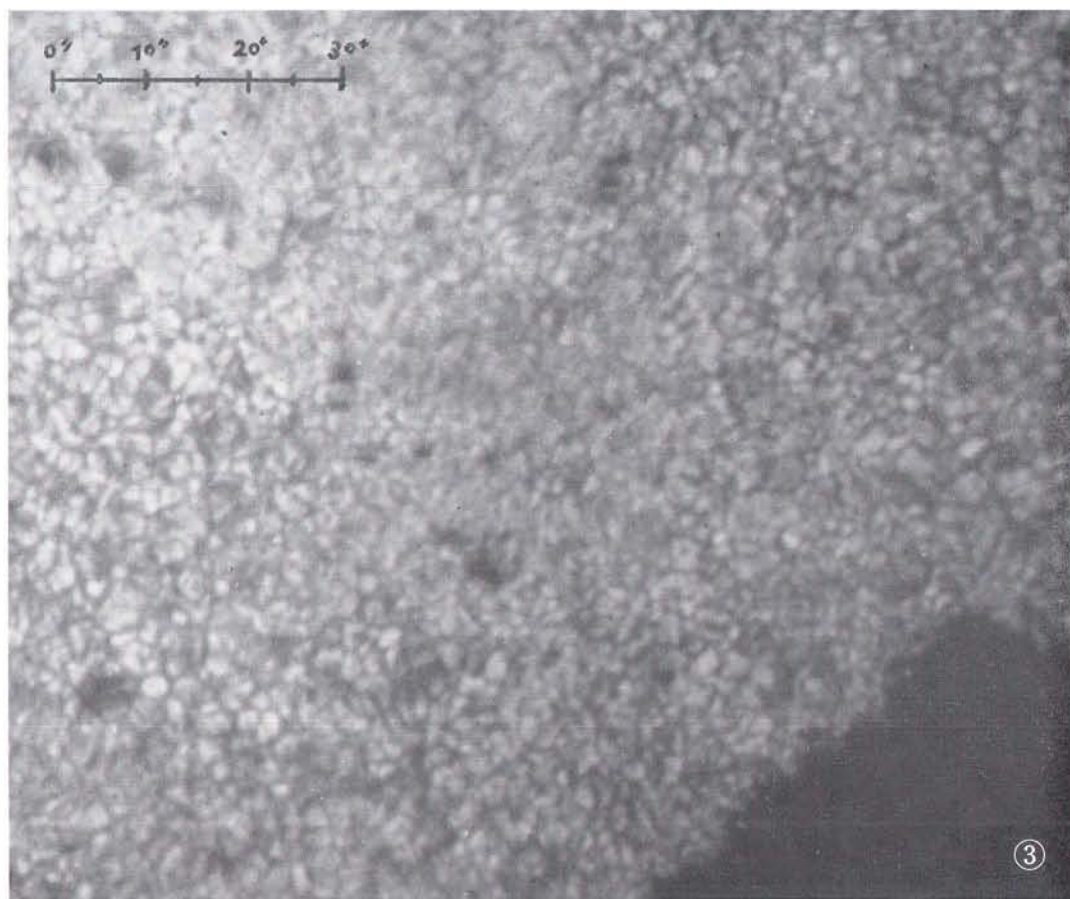
(217 頁 参照)



①, ② はウィルソン山天文台の 150 フィート塔望遠鏡の上から、日出直後に撮影したもので、① は 100 インチ望遠鏡ドーム、② は 60 フィート塔望遠鏡と Snow Telescope (水平太陽望遠鏡)、③ Hale Laboratory、もとはヘール個人の天文台であったそうである。④ カリフォルニア工科大学天文学教室。

太陽黒点と粒状斑





東京天文台 20 cm 屈折望遠鏡の拡大投影像にて部分撮影。
原板上の光球像の直径 24 cm. 撮影方法は 228 頁参照。

- ① 1967 年 8 月 3 日 11 時 10 分撮影. 太陽周辺付近の粒状斑と、白斑の粒状組織がみとめられる。
- ② 1967 年 8 月 9 日 16 時 00 分撮影. 黒点半暗部の組織と粒状斑. 地球大気の乱流により、各所に像の乱れがみられる。左下の黒円は地球の大きさを示す。
- ③ 表紙写真の左上部を拡大したもの。粒状斑が多角形に写っていることに注意。